キャリタス就活2021 [career+]

株式会社ディスコ
キャリタスリサーチ

2021年卒
Vol.10

8月1日時点の就職活動調査

キャリタス就活 2021 学生モニター調査結果（2020年8月発行）

採用選考解禁から2カ月が経過した。8月1日現在のキャリタス就活・学生モニターの就職活動状況について調査を行ったところ、内定率は8割を超える高水準ながらも、先月に引き続き前年実績を下回っていたことがわかった。

1．8月1日時点の内定状況

〇内定率は83.7%。前年同期実績（88.2%）を4.5ポイント下回る

〇就職活動終了者は全体の75.1%。前年（80.8%）を5.7ポイント下回る。継続者は2割強

2．就職活動継続学生の動向

〇選考中の企業は平均1.9社。受験予定を合わせた持ち駒企業は計3.9社。前年は計2.6社

〇大手狙いは26.5%で、3月当初（54.6%）から毎月減少。6割が「規模にこだわらずに活動」

3．就職活動の難易度（活動状況別）

〇就活継続学生は「厳しい」が7割台。就職先決定者でも過半数が「厳しい」と回答

4．就職決定企業の内定者集合

〇調査時点で「内定者集合があった」40.3%。オンラインでの実施が目立つ

1．8月1日時点の内定状況

8月1日現在の学生モニターの内定率は83.7%。8割を超える高水準ながらも、前年実績（88.2%）を4.5ポイント下回った。6月が選考解禁となった2017年卒以降で、8月の数字としては最も低い。先月（77.7%）からの伸びは6ポイント。今期は企業の動き出しが早く、4月の内定率は前年実績を大きく上回っていたが、コロナ禍で一転。5月以降は前年を下回る状態が続いている。

内定取得学生のうち就職先を決めて就職活動を終了したのは85.0%。内定取得後も活動を続けているのは約1割（10.2%）。

<8月1日現在の内定状況>　＊「内定」には、内々定を含む

（%）

		全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
内定あり		83.7 (88.2)	80.2 (83.7)	84.5 (91.1)	87.6 (87.6)	81.7 (94.8)
内定なし		16.3 (11.8)	19.8 (16.3)	15.5 (8.9)	12.4 (12.4)	18.3 (5.2)
内定者のうち	就職先を決定し活動終了	85.0 (87.4)	79.4 (83.3)	83.3 (86.5)	90.7 (92.2)	91.3 (89.8)
	活動は終了したが複数内定保持	4.3 (3.0)	5.5 (4.6)	4.0 (3.4)	3.5 (1.1)	3.9 (1.6)
	進学などの理由で就職活動を中止	0.5 (1.2)	0.6 (0.9)	0.3 (0.3)	0.7 (1.9)	0.0 (2.3)
	就職活動継続	10.2 (8.5)	14.5 (11.1)	12.3 (9.7)	5.2 (4.9)	4.9 (6.3)

（社）

	全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
内定社数／平均	2.1 (2.3)	2.0 (2.4)	2.1 (2.4)	2.1 (2.1)	2.0 (2.0)

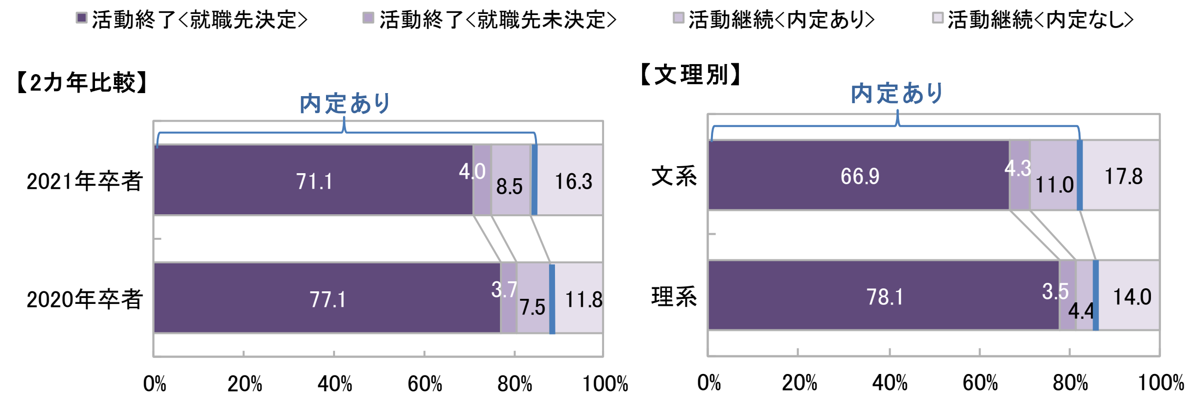
※（　）内は前年（8月1日現在）の数値

株式会社ディスコ
キャリタスリサーチ

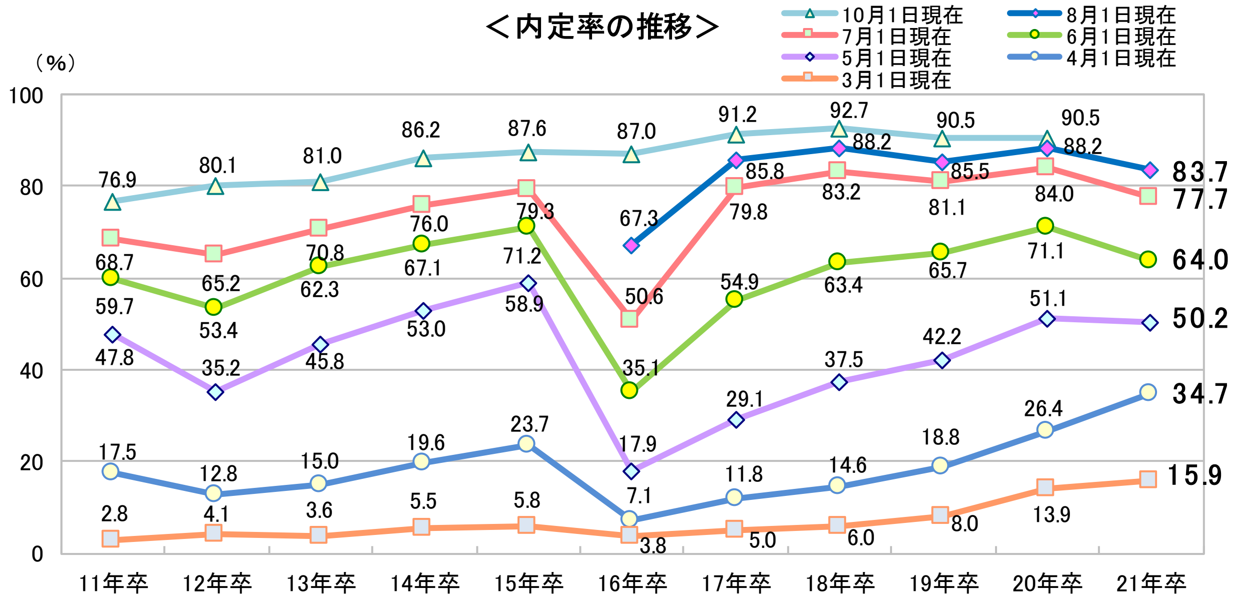
モニター学生全体を分母にして活動状況の分布を見ると、調査時点で就職先を決定して就職活動を終了した者の割合は全体の 71.1%。複数内定を保留しているなど未決定である者（4.0%）を合わせると終了者は 75.1%で、前年同期（80.8%）を 5.7 ポイント下回る。就職活動継続者は全体の 2 割強。

なお、活動状況を文理別に見ると、文系において活動継続者の割合が高いのが目立つ。「内定あり」（11.0%）も含めると文系の 3 割近く（計 28.8%）が就職活動継続中と回答した（理系は計 18.4%）。

＜活動状況の分布＞



＜内定率の推移＞



※15年卒までは選考解禁は4月、16年卒は8月、17～21卒は6月　※15年卒以前は8月のデータはなし

■就職活動に関して思うこと

○コロナウイルスの影響だけではなく、自身の見通しの甘さを痛感した。　＜文系男子／未内定＞

○複数内定をいただいても、企業の口コミサイトなどを見ていると説明会で感じていた輝きが感じられなくなり、どの道に進むべきかまったく分からなくなりました。　＜文系女子／活動中（内定あり）＞

○コロナの影響もあり、就職活動が長引いたが、ようやく終了できてほっとしている。　＜理系女子／活動終了＞

○私たちの代は早い者勝ちだったが、今後はどうなるのか分からないので、先輩の成功体験や失敗体験に流されないことが大切だと思う。　＜理系男子／活動終了＞

株式会社ディスコ
キャリタスリサーチ

２．就職活動継続学生の動向

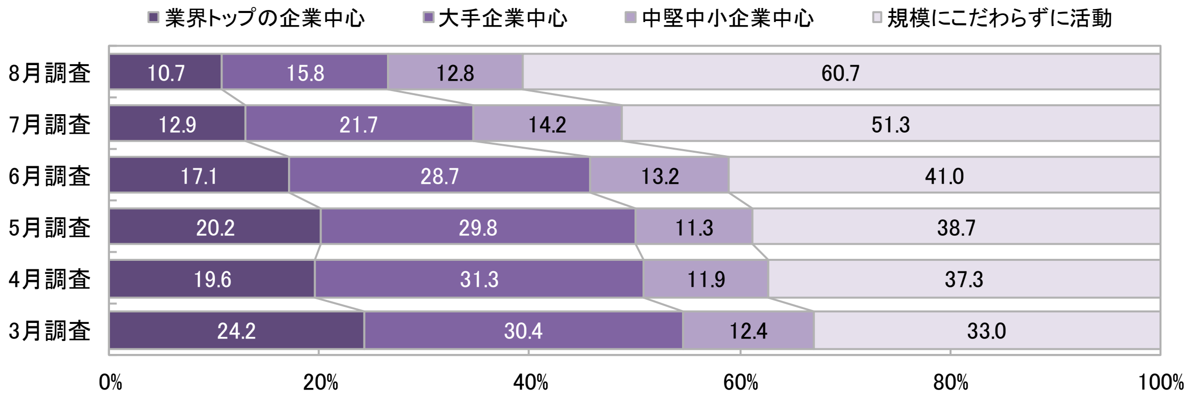
内定保持者も含め、8月1日時点で就職活動を継続している学生（モニター全体の24.8%）の、現在選考中の企業数は平均1.9社。これから受験予定の企業数2.0社を足し合わせた、いわゆる持ち駒企業数は計3.9社。前年（計2.6社）を1.3社ほど上回る。今後のエントリー予定社数、セミナー参加予定社数についても前年同期を上回り、積極的に持ち駒を増やそうとしている様子がうかがえる。

就職活動の中心としている企業規模を尋ねたところ、「業界トップ企業」10.7%、「大手企業」15.8%で、大手狙いの学生は2割台（計26.5%）。3月の就職活動開始当初は5割を超えていたが（計54.6%）、月を追うごとに比率が下がり、この8月では6割以上が「規模にこだわらずに活動」と回答した。

（社）

	全体	(2020年卒者)	(2019年卒者)	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
現在選考中の企業数	1.9	1.4	1.4	2.1	1.9	1.9	0.8
これから受験予定の企業数	2.0	1.2	1.4	2.1	2.1	2.1	1.4
今後のエントリー予定社数	3.1	1.6	2.5	3.0	2.9	3.5	3.1
今後の企業セミナー参加予定社数	2.2	1.2	1.4	2.0	2.4	2.0	2.6

＜就職活動の中心としている企業規模＞

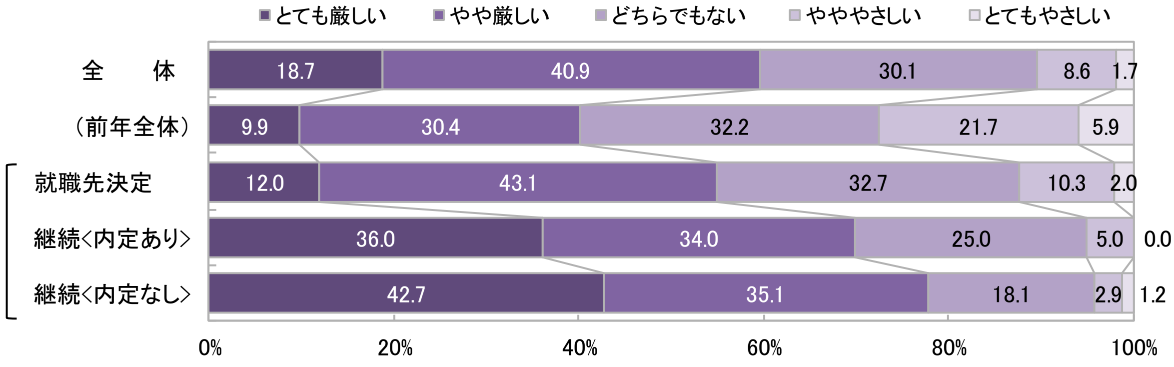


３．就職活動の難易度（活動状況別）

全員に自身の就職活動の難易度を尋ねた。「とても厳しい」「やや厳しい」を合わせて 6 割近く（計 59.6%）が、「厳しい」と回答した。前年（計 40.3%）を 20 ポイント近く上回っている。

これを内定有無など就活の状況別に集計してみると、就職活動を継続している学生では、内定有無にかかわらず「厳しい」との回答が 7 割台と高い。コロナの影響に加え、事前の準備不足や見立ての甘さを痛感する声が寄せられた。就職先を決定し活動を終了した学生であっても、過半数は、厳しかったと振り返った（計 55.1%）。

＜現時点での就職活動難易度＞

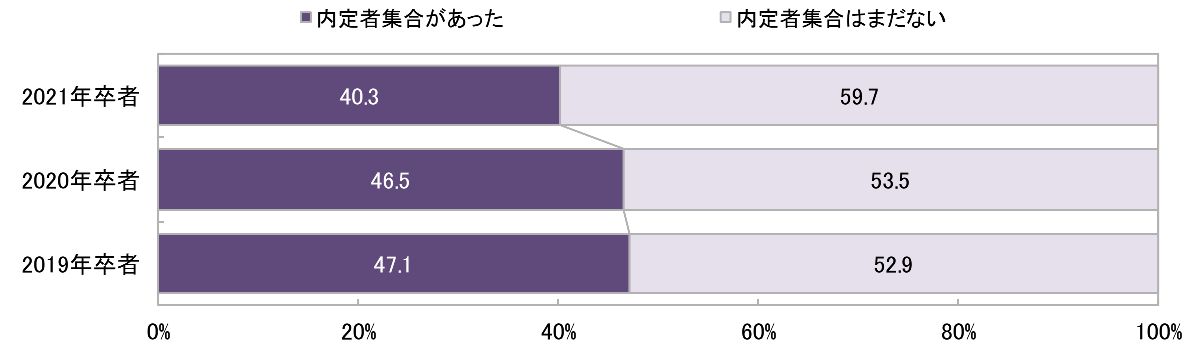


株式会社ディスコ
キャリタスリサーチ

4．就職決定企業の内定者集合

就職先を決定して就職活動を終了した学生に、内定者集合について尋ねた。調査時点で「内定者集合があった」という回答は40.3%で、前年・前々年の同時期をやや下回る。内定時期の遅れに加え、対面で開催できる時期を見計らって実施に至っていないケースもあるだろう。実際に報告された内容を見ると、例年のような対面での懇談会などは少なく、オンラインでの実施が目立つ。オンラインであっても、他の内定者の様子や社員の雰囲気などが分かり安心したという声も聞かれた。対面の場合は、3密を避けながら開催された様子が報告されている。

＜就職決定企業での内定者集合の有無＞



※各年8月調査。2021年卒者はオンライン形式含む

■内定者集合の内容

- ○オンライン形式にて開催。内定者と人事担当者、今年入社した新入社員が参加。内容は、全員の自己紹介と親睦を深めるためのリモートゲーム大会、今後の連絡のためのLINEグループの作成。＜IT・情報／6月下旬＞
- ○事務系総合職のみでWEB内定者懇談会が実施された。自己紹介をし、グループに分かれてクイズ大会等が行われた。＜製造／6月中旬＞
- ○内々定者交流会。社員との交流も含め、WEB上でのオンライン飲み会だった。＜コンサルティング／6月上旬＞
- ○オンライン形式で、内々定者の顔合わせをかねてのグループワーク。グループワークは趣味や仕事への考え方など各々の性格を参加者に知らせるもの。＜建設・不動産／7月下旬＞
- ○WEBでの内定者座談会が、2時間ほど、4人グループを何回か作って行われた。＜金融／6月下旬＞
- ○本社に集合後、自己紹介などを行う。その後ホテルに移動し宿泊。Zoomで各部屋をつなぎ、座談会や懇親会を行った。＜金融／6月上旬＞
- ○感染症対策を十分に取った上で、工場見学を行った。食事を伴う懇親会等は実施されず、内定者同士で20分程度会話する時間はあった。＜製造／7月中旬＞
- ○内定者説明会が、ソーシャルディスタンスを保った状態で、ホールで行われた。＜金融／7月上旬＞
- ○東海地区のみ、少人数の内定者懇親会。本社の紹介ビデオを観たり、現場社員に話を聞いたり、今後のスケジュールの説明を受けたりした。＜製造／7月中旬＞

調 査 概 要

調査対象 ： 2021年3月に卒業予定の大学4年生（理系は大学院修士課程2年生含む）
回答者数 ： 1,199人（文系男子388人、文系女子355人、理系男子330人、理系女子126人）
調査方法 ： インターネット調査法
調査期間 ： 2020年8月1日～6日
サンプリング ： キャリタス就活2021 学生モニター